

## エフエム八ヶ岳番組審議会報告

エフエム八ヶ岳はリスナーの皆様のご意見を番組制作に反映させ、より良い番組づくりに努めております。放送内容について皆様からのご感想、ご意見をお待ちしております。今後の番組制作の資料とさせていただきますので、どうぞお気軽にお寄せください。

### ■2021年2月

エフエム八ヶ岳 2月の番組審議会の議題は、番組「アートカフェ@ラジオ」(毎週土曜午前11時～11時15分、再放送あり)です。2年続けてきた番組ですがコロナ禍にあって、通信を活用した「zoom」で、山梨県ゆかりのオーストラリア在住の作家との交信を題材にしています。それを中心に番組の内容について、審議していただきました。放送内容について、審議委員6名の主な意見は次の通りです。

#### ◇「zoom」利用の番組について

- ・もともとラジオでは電話を使ったやりとりが普通であったのだろうが、こうしたツールを活用しもっとグローバルに番組展開するのもよい。
- ・オーストラリアからの女性の声は聞きやすかった。この女性のプロフィール、作品について、もう少し紹介してもらった方が分かりやすかった。
- ・「zoom」を使っただけの遠くオーストラリアからの放送は、現在のオーストラリアの様子がわかってよかった。特にコロナの現状が季節の違い、国民性の違いなどもコロナ対策に現れているものだと興味深く聴いた。
- ・コロナ禍にあって、海外在住の作家とのネットを利用しての放送だったが、普段のアートカフェと同様の雰囲気を出してよかった。
- ・今回の放送は海外事情を直接聞かせてもらうという新鮮さがあり有意義だった。今後も機会を見て海外とのコミュニケーションを続けてみるとよい。
- ・オーストラリアの画家さんの説明が物足りなかったのは、15分という短い時間だったからかもしれない。コロナ禍がパンデミック状態の中でどうしてもその話題になるだろう。もう少し長い時間だったら、十分に作家自身のこと、彼女の作品のことなどを紹介できたと思う。

#### ◇映画「幸せの絵の具」をテーマにした番組について

- ・ただ単に絵画を題材にしたアートカフェとは一味違った趣があったような気がした。この映画はカナダの女流画家を主人公にしたものだが、何かオーストラリアの女流画家の番組と重ね合わせると、面白かった。やはり映画の説明をもう少ししてほしかった。
- ・「絵を描くことが評価の対象になってはつまらない」という言葉には同感。「美は見る者の心の中にある」という番組のテーマに沿った放送になったのではないかな。
- ・絵画だけでなくいろいろなジャンルに話題が展開していくのはよいことで、こういう番組も貴重だ。
- ・ラジオを聞く意味はいろいろあるだろうが、新しいことを知るワクワク感やドキドキ感、そしてアートに対する新たな興味や関心ではないだろうか。アートのすばらしさが伝わるような番組を期待したい。